

平成30年度「歯科保健関係者研修会」実施要領

1. 目的： 県民歯と口の健康プラン推進のため、歯科保健事業や歯科保健活動に従事する指導者や職員の歯科保健に関する正しい理解を深める。
2. 主催： 富山県 ・ 富山県歯科医師会
3. 後援： 富山県教育委員会 ・ 富山県学校保健会
4. 日時： 平成30年8月23日（木）PM1：30～4：00
5. 場所： 富山県歯科医師会館 （富山市五福字五味原 2741-2）
6. 対象者： 歯科医師、歯科衛生士、市町村・厚生センター職員（保健師、栄養士）
養護教諭、その他地域歯科保健活動に従事している者
7. 研修：
【テーマ】 『生活習慣病の一次予防を担う歯科保健』
【講師】 鶴見大学歯学部探索歯学講座 教授 花田 信弘 先生

8. 講演抄録

病気の原因がわからなかった時代の医療は、治療の術式や技術が重要であった。しかし、今日では齲蝕、歯周病をはじめほとんどの病気についてライフコースでの発症機序が明らかになり、最善の医療の目標は発症させない医療、すなわち発症リスクの除去方法の確立に移行している。医療はかつてのように最善の方策ではなく、保健活動が不十分だったために発症し止むを得ず行う「必要悪（necessary evil）」になった。

歯科保健はフッ化物洗口や歯磨き指導により口腔細菌がむし歯や歯周炎の病巣から全身の血流へ流入することを防止する。さらに食育と歯科保健・歯科医療の連携により、咀嚼機能の育成と維持・回復を行い、適正な栄養摂取を確保している。このような歯科保健活動が生活習慣病や自己免疫疾患あるいは呼吸器感染症の発症防止にも役立っている。

本講演では、生活習慣病の一次予防を担う歯科保健・歯科医療の役割に関するさまざまなエビデンスを紹介し、生活習慣病の発症をライフコースで予防する、ライフコースヘルスケアという概念を歯科保健活動に導入することの意義を考えたい。

9. 経歴

花田 信弘（はなだ のぶひろ）

現職：鶴見大学歯学部探索歯学講座教授

1953年 福岡県生まれ

1981年 九州歯科大学歯学部 卒業

1885年 九州歯科大学大学院歯学研究科 修了

1985年 九州歯科大学歯学部 助手／講師
1987年 米国ノースウェスタン大学医歯学部 博士研究員
1990年 岩手医科大学歯学部 助教授
1993年 国立感染症研究所口腔科学部 部長
2002年 国立保健医療科学院口腔保健部 部長
2008年 鶴見大学歯学部 教授 現在に至る

この間、健康日本21計画策定委員、内閣府消費者委員会委員、内閣府新健康フロンティア戦略賢人会議専門委員、九州大学教授（厚生労働省併任）、日本歯科医学会学術委員長を務める。

現在、日本口腔衛生学会指導医、日本歯科大学歯学部客員教授、明海大学歯学部客員教授、東京理科大学光触媒国際研究センター客員教授、非常勤講師（東京医科歯科大学、長崎大学、新潟大学）

平成30年度「歯科保健関係者研修会」受講申込書

勤務先名

勤務先住所

職 種	ふりがな 氏 名
計	名

○申込み先

〒930-0887 富山市五福五味原2741-2

一般社団法人 富山県歯科医師会

【TEL】 076-432-4466

【FAX】 076-442-4013

【Eメール】 post@tda8020.com

○申込み締切

平成30年8月15日（水）まで